

清水小 校長室だより No.38

2020. 2. 13(木) 文責：筒井

清水小の働き方改革実行中！

毎日のお仕事ご苦労様です。

昨日で、今月の正規の勤務時間外での在校時間が45時間を超過しました。

帰れる時には、できるだけ定時に帰るようにしましょう。

なお、絶対に100時間を越えないように、お願い致します。

2020年 1月〇日 筒井

今、国は、強力に『教員の働き方改革』を推進している。

昨年1月末に中央教育審議会において『新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について』が答申された。

その答申を踏まえ、昨年3月に『学校における働き方改革に関する取組の徹底について』が通知された。それ以降この改革は、学校現場の喫緊の課題となり、校長は職員の勤務状況を把握し、働き方を指導する大きな責任が生じた。

学校における働き方改革の目的は【教師の厳しい勤務実態を踏まえ、教師の働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くと共に、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、教師としての自信と誇りを持って、子供たちに対して、効果的な教育活動を行うようにすること】だ。

そして、今後志ある優秀な人材が、どんどん教職を目指し、活躍できる環境を作ること、我が国の教育の質を高めようとしている。

文部科学省は「学校における働き方改革に関する工程表」示し、次々と施策を示しているが、学校現場の現状が大きく改善されるには、課題は山積し、まだまだ時間がかかるだろう。

様々な実態調査から、教職員の勤務時間が正規の勤務時間を大きく越えていることが判明し、勤務時間の管理が必須となった。そのために本校では、昨年度からパソコンによる勤怠管理システムを導入し、昨年秋からは、校務支援システムによる、個々の教員の日々の勤務時間を把握し、集計するシステムが稼働している。

昨年文科省が示した『公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン』では、上限の目安時間が示されている。簡単に言うと、

①1ヶ月の超過時間が45時間を越えないようにすること。

②1年間の超過時間が360時間を越えないようにすること。

※本当はもっと様々な事がありますが略します。

確かにこの仕事は、やってもやってもきりが無い。私が清水小に学級担任で勤務している時は、毎日夜8時過ぎまで学校にいたし、家に帰ってからも学級通信や教材研究など、朝から寝るまで『仕事』だった。でもそれが当たり前と思っていたし、苦にもならなかった。でも今は、それが許されない時代になったのだ。

若い先生からは、「働く権利も奪われるのですね」との声も聞いたが・・・如何ともしがたい。

そこで、冒頭の四角の中の文にもどる。毎月45時間の超過勤務を越えると、その人の名前が私のパソコンに表示され、指導を要請される。

1月下旬のある日の職朝で「1月からは、45時間を越えた先生の机にこの紙を貼らせていただきます。」と職員に話した。その内容がこの文言だ。

即座にあるベテラン教諭から「その紙は千円札ですか？」との声上がり、職員室には笑いが広がった。結果1月に私からの「love letter?」を受け取った人は計10人だった。千円札にしたかったのだが、紙に印刷しそこにのど飴をセロテープでくっつけて渡した。

今月は、それに栄養ドリンクをつけようかな。

やっと 卒業写真が撮影できました

今年の卒業写真の最初の撮影予定は12月16日だった。清水小は、職員や子どもが全員そろう日が、限られているので、毎年早め早めに撮影の予定を組む。

が、今まで12月に撮れ（ハイチーズ カシャ 2/7）たことはない。今年もなかなか撮れない日が続いた。延期する度に教頭さんが、次回全員がそろう日を確認し、写真店に連絡し、職員玄関の連絡板に「次回の卒業写真は〇日です。」と掲示する。

2月7日（金）全員がそろって撮影終了。ホッ！



今日は新入生の一入入学です

しみず幼稚園・きらら清水保育園の年長児を迎えて、一日体験入学をしました。

自己紹介の後で5年生が、学校を案内しました。休み時間をみんなで体育館で遊んだ後は1年生が、紙芝居で学校の行事や勉強について、説明しました。それからゲームやプレゼントを渡して、楽しい時を過ごしました。

5年生も1年生もとても頑張り、新入生を温かく見守る様子がとても微笑ましく、うれしく感じました。いよいよ進級の時が近づく感じです。